

第 186 回
定例探鳥会

日時：2002 年 6 月 9 日 (日)

天候：晴れ

コース：高来神社 八俣山

浅間山

今朝は集合前から高麗山上空をイワツバメ ムクドリ の幼鳥の群れが沢山飛び交っている、繁殖期真ただ中の、山に入ったら今日は幼鳥に会えたらと予感させる風景でした。

この時期がまた探鳥会で鳥の声を解説するのに一番苦労する時期です、カラ類の声がどの種か分からなくなってしまいます、幼鳥の声やそれを呼ぶ親の声など共通の言葉でもあるのかなと言うくらい似ています、特にヤマガラ特有のニー、ニー、と言う声は姿を確認しない限り答えられません、確認した幼鳥は、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、ムクドリ の4種とメジロが餌をくわえて移動していました。

アオバズクは今回も残念ながら確認できませんでした、高麗山のどこかで繁殖してくれているだろうか、心配です。

参加者		参加人数 37 名 (敬称略)		
1. 根岸 春旭	2. 近藤 静子	3. 下倉 紘一	4. 八木 正	5. 鈴野 嘉久
6. 鈴木 逸子	7. 星野美代子	8. 吉田 宣子	9. 片倉 暹	10. 森田 義雄
11. 福田 適	12. 福田恵美子	13. 山田 文則	14. 中村 容	15. 伊藤 武雄
16. 吉田 敬一	17. 岡本 数彦	18. 岡本 恵里	19. 古賀 勝秋	20. 清水 哲子
21. 南 博	22. 南 那津子	23. 木田 ハマ	24. 紺 龍彦	25. 岸 義人
26. 安藤 敬夫	27. 白田 則子	28. 古戸 義雄	29. 小野 肇	30. 茂木 良平
31. 瀬川富喜子	32. (田端 裕)	33. (西ヶ谷修一)	34. (岩佐 昌夫)	35. (内山規矩雄)
36. (金子 典芳)	37. (斎藤常實)			

カッコ内氏名の者は日本野鳥の会神奈川支部の幹事、及び探鳥リーダーです。

今回こまたんでおなじみの金子典芳さんが新幹事となりました、よろしく願いいたします。

見聞きした鳥		種類数 24 種 (ドバトを含む)		
1. ヒ	2. サシバ	3. タカ SP	4. コジュケイ	5. キジバト
6. アオバト	7. (ドバト)	8. ヒメアマツバメ	9. カワセミ	10. アオゲラ
11. コゲラ	12. ツバメ	13. イワツバメ	14. ヒヨドリ	15. キビタキ
16. エナガ	17. ヤマガラ	18. シジュウカラ	19. メジロ	20. カワラヒワ
21. スズメ	22. ムクドリ	23. ハシボソガラス	24. ハシブトガラス	

【お知らせ】

7月27日(土)、NHK総合テレビの「週刊ニュース」(8時30分から9時15分)のなかの「列島紀行」というコーナー(5分ほどです)で照ヶ崎のアオバトが放送されますぜひ(必ず)見てください。

(予定変更もあります)

【香川県でのアオバト保護活動】

インターネットで「アオバト」のキーワードで検索していたところ、「香川の野鳥を守る会」というホームページが眼にとまりました。この中で余木崎の岩場に飛来して海水を飲むアオバトについて書かれていました。この場所が開発されようとしており保護活動を始めようとしているようです。照ヶ崎でも開発の話が出たり消えたりしています。こまたんと同様にアオバトに興味を持って活動している会のHPを紹介します(原文のまま)。アドレスは <http://www5d.biglobe.ne.jp/~kogera/> です。

アオバトって？

余木崎は、冬季はウミアイサが渡来し、時には沖にオオハム類が、そして稀にクロガモやビロードキンクロが観察される、県下でも有数の冬の海鳥の越冬地です。でも、ここを利用するのはそれだけではありません。アオバトという緑色のハトが、実は初夏から秋にかけて、この岬を利用しています。アオバトは、森林に住む全身が緑色をしたハトで、めったに観察されることはありません。ただ冬は琴平山などで観察されたこともあり、やや低い山にも降りてくるようです。鳴き声は「オーアーオー、アオアーオー」と、まるで人が叫ぶような声です。この声と深い森林に住む習性から、「アオバトの巣を見たら死ぬ」という伝説もあったようです。その一方、アオバトは幸せを運ぶ鳥とも見られ、いずれにせよ「不思議な力を持ったハト」として知られていました。でも、アオバトの不思議は伝説の中だけではありません。

実はアオバトは、「海水を飲む」という変わった習性があるのです。なぜ海水を飲むのかは色々な説がありますが、初夏から秋にかけて、磯に群れで飛来し、ゴクゴクと海水を飲む姿は不思議としか言いようがありません。アオバトにとって海水は生きていくために不可欠なのか、神奈川県の大磯海岸というところでは、海水を飲みに来たアオバトが波に飲まれて死んでしまうこともあります。それほどアオバトにとっては大事なことなのです。

さて、このような不思議な習性が、毎年余木崎で繰り返されています。讃岐山脈から飛来するのでしょうか、群れになったアオバトは岬の岩に降りて、一日に何度もゴクゴクと海水を飲みます。

このような光景が日常的に観察されるのは、香川県はここだけです。それだけではなく、全国的に海岸の開発が進んでいる今、アオバトが海水を飲むような環境(山から海へ繋がる岬、海面に突き出た岩場など)は年々減っていて、香川県の余木崎は非常に重要な環境なのです。

先に記したようにアオバトは深い森に住むため、いったい何羽くらいいるのかわかりません。しかし「海水を飲む」ことができなくなった時、その数が減ってしまうのは簡単に想像できます。その減少が香川県のアオバトにとってどれほどの影響を与えるのか、それも全くわからず、保護の方法もわかりません。

ところが現在、余木崎は道の駅ができるなど、再開発の波が押し寄せています。

一方アオバトと余木崎には何の保護対策もとられていないため、夏にアオバトが飛来しても、釣りや素潜りのために安心して岩場に降りられずに右往左往していることがあります。

豊浜町だけではなく、香川県全体でも貴重な「自然の不思議」を観察できるこの場所で、いつまでもアオバトが安心して飛来できるように、アオバトと余木崎を守る活動にご協力をお願いします。

私たちにできること

では、「私たちにできること」は、何かあるでしょうか。

最も大事なことは、余木崎のアオバトをきちんと調べ、記録を残すことです。県などに要望するときにも、データがあればより一層強みを増します。一人一人の観察記録も、たくさん集まれば「データ」としての価値を増します。

そこで皆さんの観察記録を「香川の野鳥を守る会」で蓄積・整理し(「余木崎のアオバト調査」)、それをもとに行政に働きかけていきたいと思っております。

ご協力いただける方は、

これまでの観察記録をお寄せ下さい(過去の記録も重要です)。

これからの観察記録をお寄せ下さい。ただし、より有効なデータとするために、記録する事項を共通化しておいた方がいいと思いますので、可能な方は次のような事項に注意して、余木崎の「アオバト調査」の連絡シートから観察記録をお寄せください。

ご注意

- ・ 観察についてはマナーを守り、アオバト及びその他の動植物に悪影響を与えないようにして下さい。
- ・ 岬の先端や岩礁には立ち入らず、離れたところからスコープまたは双眼鏡で観察してください。遠くてわからないからと言って近づかないようにしてください。

また、四国または瀬戸内海沿岸において、同様にアオバトの海水飲み行動が見られる場所をご存知の方はご連絡下さい。余木崎の個体群と比較してみたいと思います。

香川の野鳥を守る会のこれからの取り組み

まず、アオバトの観察記録を蓄積・整理して、豊浜町のアオバト保護の基礎資料を作っていきます。また、アオバトと余木崎を守るために、行政(県や豊浜町)に次のような要望をしていきたいと考えています。

余木崎及び周辺海域は鳥獣保護区及び県天然記念物に指定すること。

余木崎の再開発事業においては少なくとも現在の環境を保持することを主眼とすること。商業施設の誘致ではなく、県有地として自然公園化し、環境の保全を優先することが望ましい。

ご協力をお願い!

- ・ この問題に関心のある方、また保護対策のアイデアのある方、事務局へぜひご連絡ください。特に豊浜町附近の方、アオバトは豊浜町のシンボリック存在になりえる野鳥です。地元の方々に見守られてこそ適切な保護が可能になります。アオバトを守る活動へのご参加、お待ちしております!
- ・ アオバトは非常にデリケートな野鳥です。観察・調査・写真撮影、何でもアオバトにとっては悪影響を及ぼす可能性があります。皆でそっと見守りましょう。

【お知らせ】

照ヶ崎アオバト観察会

7月は照ヶ崎でのアオバト観察会の予定がいっぱいです。皆さんの応援をお願いします。望遠鏡をお持ちの方の御協力をお願いします。もちろんアオバト観察にこられても大歓迎です。

開始時間までに照ヶ崎の防波堤にお集まりください。

7月27日(土) ... 小学生対象の観察会(大磯町公募) 8:30~11:00

7月28日(日) ... 大磯町民自由参加観察会 6:00~10:00

7月28日(日) ... 平塚市立松原公民館「アオバトを見よう!」 8:00~11:00

7月28日(日) ... こまたん主催「市民探鳥会」 6:00から(都合のよい時間にどうぞ)

大磯・宿場まつり

例年は11月3日頃に行われていますが、今年は東海道シンポジウムが10月12日に大磯で行われるので、これに合わせて「宿場まつり」が10月13日(日)に開催されることになりました。詳しいことが分かりましたらまたお知らせします。

鳥報

アオバト情報

・照ヶ崎のアオバト

例年と同様に、朝の早い時間に多数が飛来しています。

5/26 6~7時台 555羽、8時台 238羽、9時台 44羽、10時台 31羽。10時台にはペアと見られる雌雄が飛来しました。

7月6日(土)の観察ではまだ幼鳥は来ていないようです。今までで一番早かったのは7月9日です。過去の記録では7月13日頃までには飛来し始めると考えられます。

風切羽の縁の白色で若鳥と成鳥の違いが識別できるようです(縁に白色のある方が若鳥)。注意深く観察すると見分けられます。

・その他の場所でのアオバト目撃報告

6/24 吉沢・鷹取山 2羽

7/3 吉沢・鷹取山...声が聞こえた 7:38、7:41、7:45

7/6 松岩寺の上空を通過...6:20 海方向へ 2羽、6:21 山方向へ 3羽、6:25 山方向へ 1羽。
松岩寺の境内を抜けたあたりの上空を通過...6:31 海方向へ 2羽。

吉沢の池上空を通過...9:10 海方向へ 13羽、9:10 山方向へ 4羽。

その他に鳴き声が3ヶ所で聞こえた(定例カウント調査)

7/6 土屋の谷戸上空を通過...10:25 山方向へ 5羽

その他の野鳥情報

カッコウ ... 平塚市南原(渋田川と花水川の合流点付近) 6/25、6/29 に鳴き声を聞いた。他の日にも鳴き声を聞いたという情報があります。

ヤマガラ ... 7/2 6:30頃。白化個体がベランダに飛来。普通のヤマガラのオレンジ色の部分が白色になっていた。黒色の部分は少し淡いものそのまま残っていた。

コアジサシ ... 7/6 遠藤原、2羽が上空を通過。初記録。

チョウゲンボウ ... 7/6 遠藤原、1羽がツバメ約 30羽にモビングされていた。

【お知らせ】

定例カウント調査

吉沢・松岩寺 & 土屋・遠藤原 2002年8月3日(土)

生沢・鷹取山 2002年8月10日(土)

午前6時に高麗ハイツ隣の駐車場に集合。12時頃に集合場所に戻ります。雨天中止。

連絡先：岩佐 昌夫 0463-55-6142 内山 規矩雄 0463-33-4322 金子 典芳 0463-32-5583

次回の定例探鳥会は2002年8月11日(日)です。午前7時30分 高来神社に集合。

緑鳩(アオバト) 第185号 / 7月号 発行所 :こまたん

斎藤 常實 0467-51-3543

岩佐 昌夫 0463-55-6142

こまたんホームページアドレス <http://www2u.biglobe.ne.jp/~komatan/>
日本野鳥の会神奈川支部ホームページ <http://www.mmjp.or.jp/wbsj-k/>